

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	都市計画 (Urban planning)		
ナンバリングコード	L30409	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	コース選択必修: 環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース 選択: 建築設計コース、建築工学コース、住居・インテリアコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L040901	クラス名	-
担当教員名	菅 雅幸、福田 健		
履修上の注意、履修条件	特にありません。 配布資料、視聴覚資料の内容を中心に講義を行いますので、休むとわかりにくくなります。必ず出席するように心掛けてください。毎回、講義の終わりに課題を出します。内容は講義のまとめですので、必ず提出してください。12回目には中間テストを行います。		
教科書	都市計画とまちづくりがわかる本 彰国社 伊藤雅春、小林郁雄、他 建築基準法関係法令集(建築資料研究社)		
参考文献及び指定図書	都市計画 朝倉書店 萩島 哲 編、菅 雅幸 他著 基本まちづくり事典 まちづくり研究会編著 等		
関連科目	ランドスケープ、建築計画、建築法規、流域生体論など		

○基本情報							
授業の目的	一般に都市計画とは都市(まち)の「整備」「開発」「保全」の方針を定めることとなっています。そして、最も重要なことは「安心・安全」な生活をする事です。 都市計画を社会常識として知っておくべき内容だけでなく、一級・二級建築士学科試験、宅地建物取引主任者試験に出題されている内容にできるだけ盛り込んでいます。この講義を機会に、都市計画に興味を持っていただきたい。更に関連する各種の資格取得を積極的にチャレンジする事を期待します。						
授業の概要	第1回～第4回目の講義は、一級建築士(計画)の内容に準拠し、都市計画の成り立ちについて解説します。第5回～第11回目の講義は、一級・二級建築士(法規)宅建士(法令上の制限)、技術士(建設部門)に準拠し、都市計画法について解説します。第13回目～第15回目までの講義は、これからの都市計画を進める上で、必要な知っておくべき内容を学修する。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	菅 雅幸 本授業の都市計画制度に関する実務経験として設計事務所にて高層建築の建築に従事。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	私たちがとりまく、社会問題に興味を持ってください。	10点		30点
【知識・理解】	計画学はもとより、経済地理学、統計学、環境分析等、広範囲な知識に触れます。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	人間が集団で生活し始めると何が起り、何が必要になり、どうして行くべきかを学修する。	30点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
出席を重視します。毎回、授業で行う確認テストの結果と、期末テストの結果により、成績を判定します。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
都市計画(都市計画法、都市計画関連法)、建築法規1(用途地域、建蔽率、容積率、高さ制限、日影制限、天空率、その他の関連法規)、CAD2(建蔽率、容積率、高さ制限、日影制限、天空率)、ランドスケープ(環境関連法)のそれぞれの講義内容が連携しています。 私たちの携わる仕事は、主に国土交通省の管轄内容が多いのですが、経済産業省、環境省との関りも重要となってきています。 これを機会に専門性を高め、より幅広い視野を持つようにしてください。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	都市計画 (Urban planning) 菅 雅幸、福田 健	授業コード	L040901
学修内容				
1. 講義進行について説明、参考図書の紹介、都市問題の発生 産業革命によって、都市の問題を解決するために都市計画が生まれた。その後、現代に至るまで、発生した都市問題とその解決方法、その為に定められた法律を解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
2. 近代・現代の都市計画、都市デザイン 都市計画理論とそれに基づいた計画論から、特筆すべき都市計画の実例の紹介、解説をします。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
3. 都市計画(計画) 都市計画の用語、交通計画、首都・州都計画、住宅地計画等について解説します。また、代表的な都市計画家・都市理論研究者と主な提案内容や、都市計画用語などについて解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
4. 住宅地計画(計画)、近隣住区理論 住宅地計画を考える基本となる、住宅地の構成や、環境計画を考える上で重要となる都市公園などについて、また、それらの計画を実践した代表的なニュータウンの例などについて解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
5. 地域計画マスタープラン 大阪湾沿岸域の土地利用がどのように変化してきたかを分析したものを事例として、各地域・地区ごとの土地利用用途占有率とその変化による、各土地利用占有率の現況及び商業・住宅用用地占有率の増加を考慮して、どのような用途が転換しているのかを解析し、臨海部における都市化のメカニズムについて解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
6. 都市計画マスタープラン 景観デザイン、地区計画等を中心に、都市計画マスタープランを定めることによってどのように変わるのか。都市計画マスタープランを定めるために必要なことなどについて解説します。大分県を例に、都市計画区域マスタープラン、市町村マスタープランとはどのようなものか具体的に解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
7. 町なみまちづくり 地域の活性化のために、魅力の再発見や住民の意識改革が行われる、まちづくり・まち起こしの事例を基に、自治体やコンサルタント、市民参加等の関わり方、仕組みについて解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
8. まちづくり三法改正からコンパクトシティまで 地域の活性化のために、魅力の再発見や住民の意識改革が行われる、まちづくり・まち起こしの事例を基に、自治体やコンサルタント、市民参加等の関わり方、仕組みについて解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	

○授業計画	科目名 担当教員	都市計画 (Urban planning) 菅 雅幸、福田 健	授業コード	L040901
学修内容				
9. 都市計画法 土地利用の基本的な考え方、線引き・非線引き・用途地域の決定の考え方、都市計画区域内の土地利用について解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 建築基準法関連法令集 都市計画法(p834～p846)を予習および線引きを行う			約2時間	
復習 配付資料、または課題を配布し、絶対高さ、道路斜線制限の復習を行う。			約2時間	
10. 都市計画関連法 都市計画法の中から、都市計画区域の内容、都市計画の制限、など内容を解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 建築基準法関連法令集 都市計画法(p847～p863)を予習および線引きを行う			約2時間	
復習 配付資料、または課題を配布し、絶対高さ、道路斜線制限の復習を行う。			約2時間	
11. その他の関連法(国土利用計画法)、開発行為、開発行為関連 都市計画法の中から、都市の開発行為、開発許可に関する内容を中心に解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 都市計画法(p847～p863)、建築基準法関連法令集 都市計画関連法(景観法等)を予習および線引きを行う			約2時間	
復習 配付資料、または課題を配布し、絶対高さ、道路斜線制限の復習を行う。			約2時間	
12. 中間テスト これまでの講義内容を範囲とした中間試験を行います。				
予習 これまでの範囲についての授業内容や配布資料を見直しておく。			約2時間	
復習 試験に出てきた専門用語の意味について、復習しておく。			約2時間	
13. まちづくりとGIS 防災計画、ハザードマップ、まちづくりマップ等、ステークホルダーとの合意形成を円滑に進めるために、GISを使って可視化(みえる化)してゆく手法を解説します。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
14. これからの都市の将来 セカイノコンパクトシティをもとに、豊かな生活の実現のためのコンパクトシティ、持続可能社会の実現をめざした都市、環境配慮型都市、リバーススプロールなど、これからの都市のあり方に関して解説します。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用のレジメを基に用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
15. 防災計画、復興計画 日本学術会議、防災学術連携体の報告を参考に、防災・減災・災害復興の今を知ってもらうとともに、衛星情報・地理情報のインベティブな活用方法、将来計画を紹介する。 講義の最後に確認テストを行います。				
予習 次週の授業用に配布する用語について、事前検索しておく。			約2時間	
復習 講義で出てきた専門用語の意味について、各自で調べて確認しておく。			約2時間	
16. 期末試験 これまでの講義内容を範囲とした期末試験を行います。				
予習 これまでの範囲についての授業内容や配布資料を見直しておく。			約2時間	
復習			約2時間	